

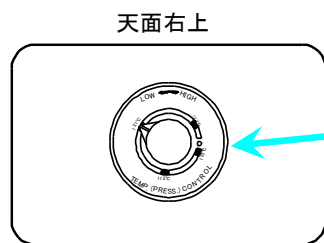
● 交換部品について

高圧蒸気滅菌器を長年ご使用いただいていると、各部位が経年劣化します。特に下記部品が交換部品として交換する頻度が高く、機器の性能安全性に影響を及ぼしますので、定期的な確認、交換が必要になります。点検・修理等をご用命の際は、販売店または弊社までご相談ください。

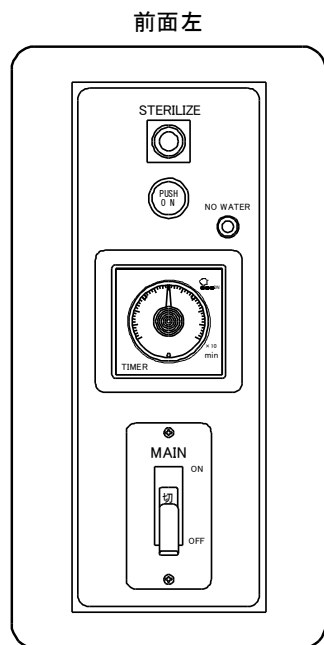
部品名	用途	推奨交換 頻度（※1、2）	対応シリーズ	交換目安
フタパッキン	フタと缶体をシールし蒸気漏れを防ぐ。	3年	全シリーズ	変色、硬化により缶体接触面のシール性が悪化し最終的にはフタ部より蒸気漏れが生じる。
空気抜弁	蒸気滅菌に必要な飽和蒸気状態を作り出すため、温度上昇時に蒸気と混合した空気を抜くための部品。	3年	KTS パーソナルクレーブ	温度上昇時に排気ボトルへの蒸気排出が止まらない、または蒸気排出せず排気ボトル内の水が溜まらない。 (空気抜き工程(温度上昇時の蒸気排出)が止まりにくく、または排出しなくなる。)
圧力調節器	滅菌行程時、設定した圧力で制御する。	3年	KTS パーソナルクレーブ	滅菌行程時、圧力(温度)調節装置の温度に対し、圧力計の指針圧力が低い。 (本来の制御圧力より低い圧力で制御してしまう。)
圧力計	常時缶体内の圧力を指針する。 (フタ開時は 0MPa)	5年	全シリーズ	フタ開時(大気圧状態)で0指針しない。
ヒーター (缶体底の渦巻き状の部品)	缶体内の水を加熱し蒸気に変換する。	—	全シリーズ	変色している。(新品時はシルバー色) (缶体内の水の入れ替えを怠っていると変色しやすい)
空焚防止装置 (ヒーター上部に三個のクリップで固定されている円弧状の部品)	缶体内の水が減少した時に作動する。	—	全シリーズ	電源を入れると、またはスタートボタンを押すと、ブザーが鳴る。 (空焚きを繰り返す、または缶体外に多量の水をこぼした時に空焚防止装置が故障しやすい。)

※1: 推奨交換頻度は目安であり、使用頻度、滅菌物の内容、日頃のメンテナンス状況等により大幅に変わります。

※2: 安全にお使いいただくため、交換部品は必ずアルプ純正部品をご使用ください。



圧力調節器

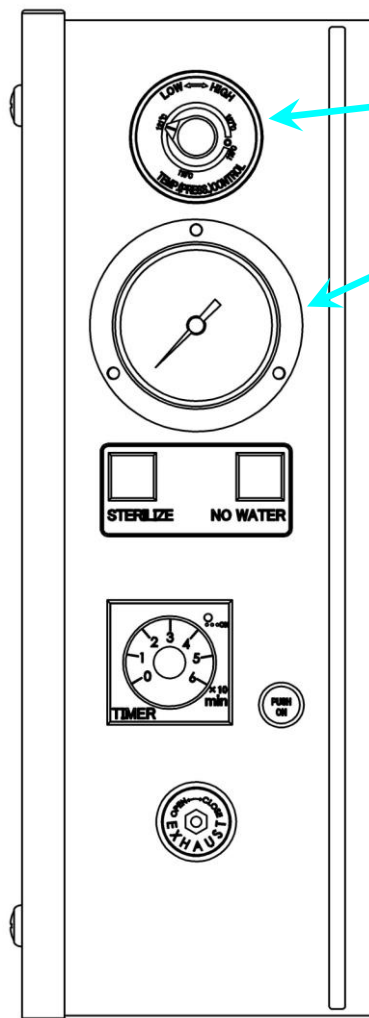


空気抜弁

圧力計



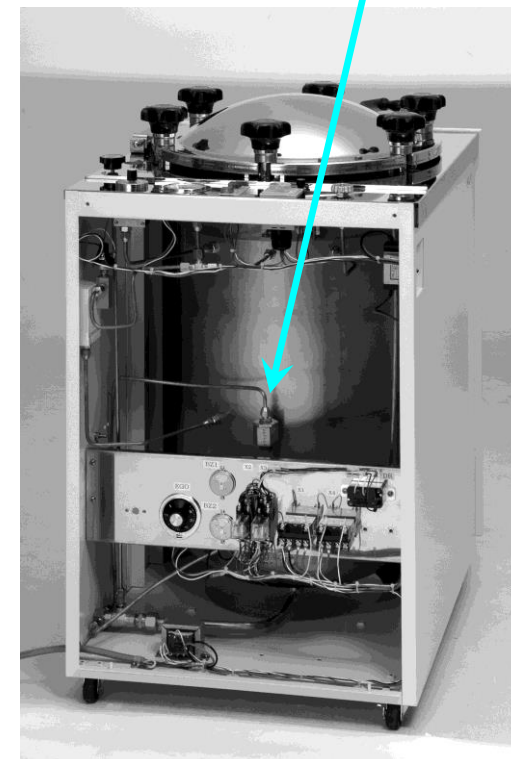
パーソナルクレーブ  
シリーズ



圧力調節器

圧力計

空気抜弁



KTS  
シリーズ